

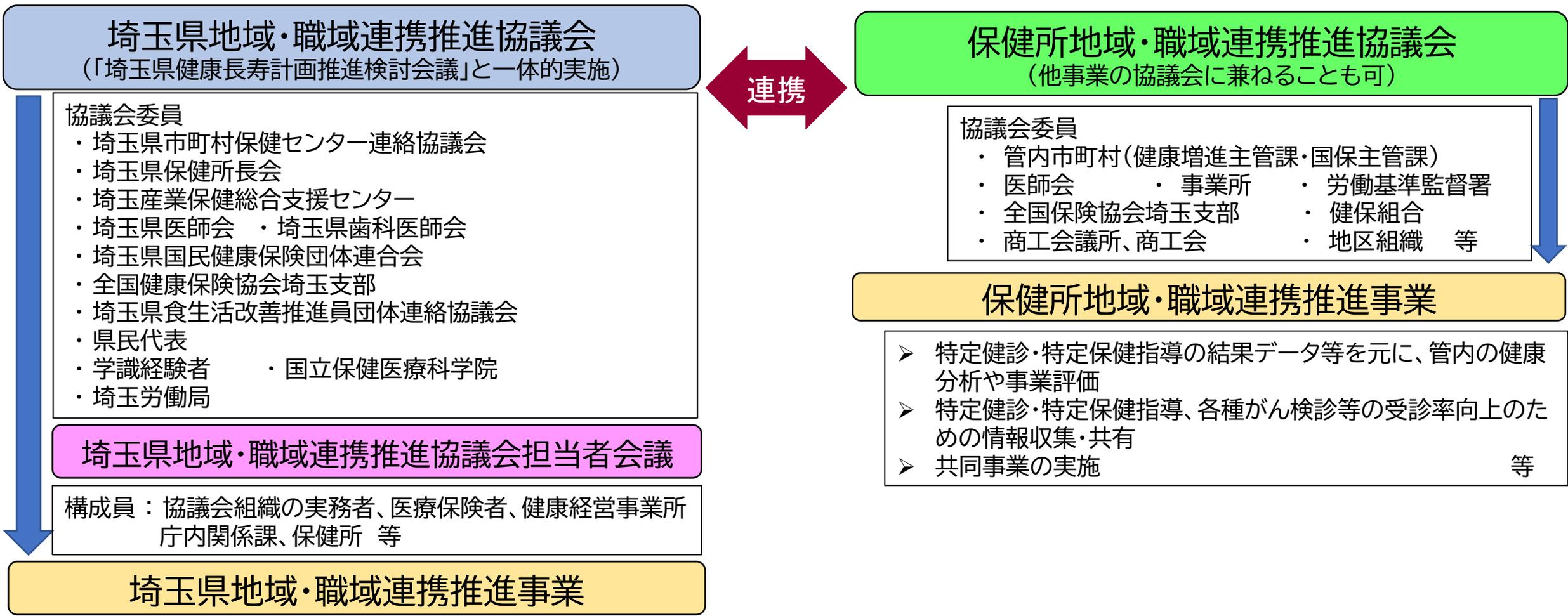
令和7年度 埼玉県健康長寿計画推進検討会議	資料6
令和7年2月13日（金） 18：30～	

埼玉県地域・職域連携推進事業について

埼玉県地域・職域連携推進事業

●「地域・職域連携推進協議会」設置の法的根拠

- ・ 地域保健法第4条に基づく基本指針（（略）関係団体等から構成する連携推進協議会を設置し（以下略）、）
- ・ 健康増進法第9条に基づく健康増進事業実施者に対する健康診査の実施等に関する指針



埼玉県地域・職域連携推進協議会担当者会議

開催日

- 令和8年1月23日(金曜日) 午後2時00分～午後4時00分

参加者

- (地域)保健所(南部、春日部、草加、鴻巣、東松山、坂戸、狭山、加須、幸手、熊谷、秩父)、市町
- (職域)埼玉労働局健康安全課、労働基準監督署
- (保険者)全国健康保険協会埼玉支部

目的

- 本県では、平成23年度に「埼玉県地域・職域連携推進事業実施要綱」を定め、県全域、保健所・二次医療圏圏域毎に、地域の特性を生かした取組を進めているところである。しかし、地域と職域の課題が非常に幅広いこと、関係機関と普段の業務での関わりが少ないことなどから、取組内容がそれぞれの立場での情報交換にとどまり、連携した具体的な取組につながっていないという課題がある。
- こうしたことから、地域・職域連携推進事業のさらなる推進を図るため、県内の先駆的な事例等を学び、それぞれの立場で健康に関する課題意識を共有し、取組につなげる目的に会議を開催した。

内容

- (1)開会
- (2)地域・職域連携について 【発表者】埼玉県健康長寿課
- (3)二次保健医療圏の取組
 - ア 事業所アンケート調査について 【発表者】埼玉県加須保健所
 - イ 北部保健医療圏での地域職域連携活動の発展に向けた取組 【発表者】埼玉県熊谷保健所
 - ウ 坂戸保健所の地域・職域連携推進協議会 【発表者】埼玉県坂戸保健所
- (4)グループワーク
 - 各地域における地域・職域連携推進事業のレベルの評価・課題整理
 - (①各機関の取組共有、②各保健所(二次医療圏)の地域・職域連携推進協議会の成長イメージレベルがどこにあるか確認する、③現在の1つ上のレベルに進めるために、阻害要因となっているもの話し合う、④これからレベルを1つ上にあげるために出来ることを話し合う)
- (5)発表
- (6)講評 【講評者】埼玉労働局 健康安全課
- (7)閉会

埼玉県地域・職域連携推進協議会担当者会議

グループワークの結果

レベル評価

課題等

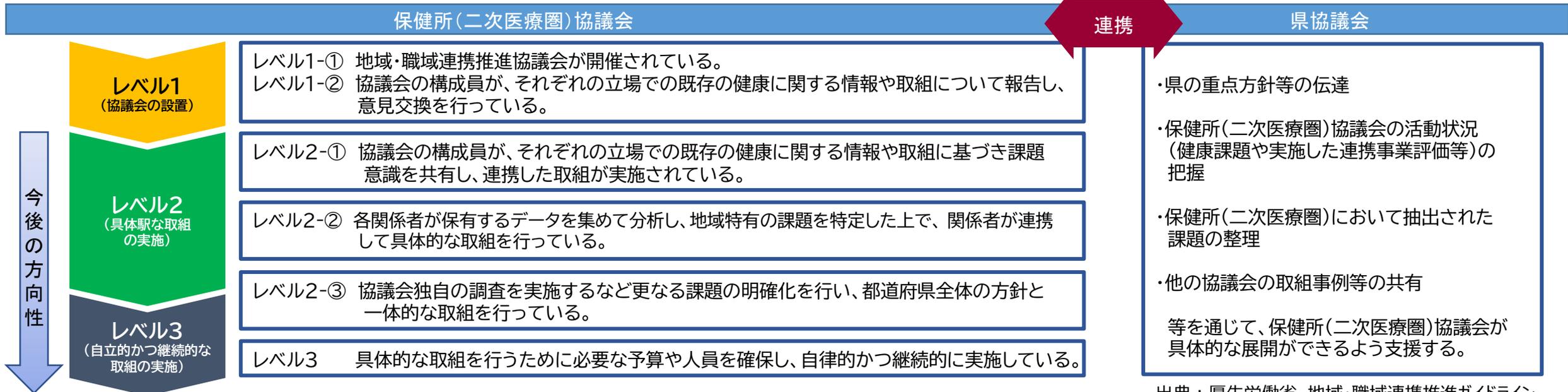
- レベル1-①が最も多く、高いところでレベル2-②であった。
- 協議会の運営に関する課題:「誰に声をかければ良いのか分からない」「どのような内容が望ましいのか分からない」等
- 事業所との連携に関する課題:「事業所との繋がるきっかけがない」、「地域の課題と職域の課題が必ずしも一致しない」等
- 自治体内、自治体間の連携に関する課題:「他業務との優先順位」、「市町村で地域・職域の位置づけが定まっていない」等
- 予算やマンパワーに関する課題:「人事異動」、「予算の制約」、「マンパワー不足」等



今後の方向性

- 保健所協議会では、レベル1-①の維持し、レベル1-②を目指す。レベル1-②以上の場合は、さらなるレベルアップを目指す。
- グループワークにおいて出た課題を整理し、好事例の横展開等を行う。

地域・職域連携推進協議会の成長イメージレベル



地域・職域連携推進事業の主な内容

1. 埼玉県健康経営認定制度
 - 健康経営に取り組む県内事業所・団体の認定
2. 埼玉県コバトン健康メニュー
 - 健康を意識した食塩が少なく、野菜が多いメニューの栄養基準を設定し、コバトン健康メニューとして弁当や給食、飲食店でのメニューとして提供いただいている。また、県公式クックパッドでもレシピを紹介している。
3. 埼玉県受動喫煙防止対策実施施設等認証制度
 - 改正健康増進法よりも厳しい内容の受動喫煙防止対策に取り組む「施設」を認証する
4. 特定健診・特定保健指導スキルアップ研修
 - 特定保健指導者の資質向上を目的とした研修会の実施
5. 特定健康診査結果データ解析事業
 - 国保連、協会けんぽ等の医療保険者の協力のもと、特定健康診査結果データを提供いただき、市町村別に解析を行う。地域の健康状況の分析に活用する。
6. 「おいしくしお活」プロジェクト
 - 減塩を推進する取組。誰もが意識せずに自然に健康になれる環境づくりを県、市町村、企業、大学、民間団体等の多様な主体と連携し取り組んでいる。
6. 埼玉県コバトンALKOOマイレージ
 - スマートフォンアプリ等を活用し、1日の歩数等でポイントをため、抽選で賞品があたるもの。インセンティブを活用し、忙しい働き世代と健康無関心層に健康づくりのきっかけづくりを提供する。
7. みんなで健康マイスター事業
 - 自分の健康づくりに取り組むとともに、学んだ健康情報を、家族、友人、周りの皆さまに広め、健康づくりの仲間を増やす。